

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1354
施設名	平河町ちとせ保育園
施設所在地	千代田区平河町2-10-3
法人名	社会福祉法人ちとせ交友会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

「自然と音」

<テーマの設定理由>

園周辺で自然に触れる経験ができないため、森の自然に触れる木育に視点をあて、木に触れる事で、木の質感や香り、温もりなどを五感で感じ、感性や創造性を刺激し、自然の不思議や木への興味関心を深めていき、豊かな心を育みたいと考えました。

2. 活動スケジュール

令和6年10月22日 端材を使って自由に作ってみよう。

令和6年11月11日 素材を使って音を出してみよう。

令和6年12月14日 木で作った手作り楽器や民族楽器を使い、「森の音楽会」を保護者に披露しました。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・ 外部講師の派遣
- ・ カンナクズプール・端材・ビニールシート・接着剤・穴あけドリル・ポスカ・ひも
- ・ 木材・民族楽器（カリンバ、ギロ、太鼓、シェイカー、マラカス等）



4. 探究活動の実践

<活動の内容>

活動① 端材を使って自由に作ってみよう。

- ・ヒノキのカナクズプールに入って、五感で自然を感じる。
- ・端材にヤスリをかける⇒端材を組立てる⇒色付けや模様を描く。

活動② 素材を使って音を出してみよう。

- ・木材を使って、マルタネットを作る⇒木に絵を描く⇒組立て完成
- ・不思議な森の楽器「マキンバ」を使い、木の音色を奏でて探究する。
- ・民族楽器も加えて、みんなで音楽に合わせて演奏する。

活動③「森の音楽会」みんなで楽しく演奏して披露する。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

・木材に触れる経験がなく、端材も色々な形があり、なかなかイメージがつかず戸惑った様子が見られ「どうしたらいいの?」と質問する子もありました。作り出すまでに試行錯誤していました。友だちが作っている様子を見たり、見本を見たり、木を重ねたり、並べたりしていくうちに、イメージがどんどん膨らんでいきました。

- ・イメージが明確になると、「ひもをつけたらどうかなあ」「色をつけたらきれい」「絵を描いてみたい」と、子どもたちのやってみたい気持ちが出てきました。
- ・端材にヤスリをかけながら「ツルツルになった」と手触りの変化を感じていました。
- ・1人で何個も作る子、友だちと一緒に協力して作る姿も見られました。
- ・楽譜がないリズムで、子どもたち同士が楽しくのびのびと音を奏でていました。
- ・保育者は、否定的に捉えず見守りながら、子どもたちの「やってみたい」をサポートしていました。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・「自由に」と言われた時に、子どもたちがすぐに反応する事が難しかった姿を見て、普段想像以上に枠にはめていた事に気づいた。のびのびとした表現活動を思いっきり楽しめるように、日頃から子どもたちとの関わり方を考えるようにしていきたい。
- ・イメージしたものを作るのに苦労している姿はあったが、自分で考えて失敗して、また違う考えで黙々と取り組む姿に成長を感じ、このプロジェクトを通して普段では出来なかった体験をすることで、次への取り組みにもワクワクして活動する事ができた。